

# 小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- |   |            |
|---|------------|
| 1 | 一括質問一括答弁方式 |
| 2 | 一問一答方式     |

質問件名 市長責任でビジョン構築を急げ。ICT 整備の好機を逃すな

## 質問要旨

8 月臨時会に提出された補正予算案第4号は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金という自由度の高い資金が活用できる局面であったにもかかわらず、エレベーターの改修やルネこだいら入口自動ドア設置など不要不急の事業に巨費を投じるという内容のまま可決されてしまった。単に各部署の要望を寄せ集めて予算化したかのような内容からは、市のビジョンが欠如していることや、市長がプラン構築の段階から職員に丸投げし、自ら進んで責任を取る態度がないことが伺える。

職員に丸投げをすればすべてうまく行くという考え方は、たとえ職員がどんなに優秀だとしても間違いである。職員は市民に選ばれるわけではなく、4 年間の任期もない。失敗した場合の責任を負えないため、客観的に無難な選択肢を選ぶバイアスがあり、それはある程度仕方のないことである。そのため、市長の一つ大きな役割としては、ビジョンやプランの構築に積極的に関わり、すべての責任を取る決意を示すことによって、職員が余計な心配をしなくて済むようにする、ということがある。さもなければ、危機的状況においても抜本的な取り組みは行われず、寄せ集めの無難な事業だけが行われ、先細りになるだけである。

地方創生臨時交付金が次回も交付される可能性は高い。次の機会を無駄にしないためにも、市長は改めて責任の所在が全て自らにあることを示し、全庁一丸となって明確なビジョンとプランを構築し、投資計画の準備を進めて頂きたい。その一環として、特に ICT 環境の整備に投資をして頂きたい。コロナ禍への対応としてだけでなく、福祉の充実、誰一人取り残さない教育環境の整備、収入による教育格差の是正、その他様々な問題解決につながることを考えれば、ICT 環境整備こそ急を要する事業である。

以上の理由から、市の現状と ICT 環境整備に関連して、以下質問を行う。

1. 現時点で、当初予算に対して市税歳入の減少はどの程度見込んでいるか。
2. 歳入の減少に対応して、市公共施設の規模縮小を早める予定はあるか。
3. コロナ禍前と比較して、再開後の市公共施設の一日平均利用者数の状況は。また今後の見込みは。
4. 市公共施設の wifi 設置状況と今後の整備予定は。
5. コロナ禍に対応して、これまで施設を利用していた市民団体の活動がオンライン化する動きは把握しているか。また、市民活動をオンライン化する場合の課題は。
6. 委員会、審議会、協議会のインターネット開催状況と課題は。
7. 市公共施設を利用する市民団体の希望者にタブレットを貸与等し、オンライン開催やハイブリッド(公共施設からの参加者と自宅等からの参加者がオンラインでつながる)開催を実験的にでも進めてはどうか。
8. 希望する市民にタブレットを順次配布するなどし「市民一人一台タブレット完備」の小平市を目指してはどうか。GIGA スクール構想の実現で児童生徒等に用意される約 1 万 4 千台のタブレットは今後定期的に更新・購入等する必要がある、その使用期間が過ぎたものも活用できると思うが、どうか。
9. コロナ禍に対応して、対面を防ぐという名目で、窓口に複数台のタブレットを準備し、読むことが困難な方のために、書類に記載されている注意事項等の文字を拡大したり、音声で読み上げられるようにしてはどうか。
10. 千代田区が実施しているような WEB 図書館については検討しているか。している場合、課題は。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

令和 2 年 8 月 31 日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 安竹 洋平

受付番号【     】
